

書名	<b>神武東征とヤマト建国の謎 日本誕生の主導権を握ったのは誰か？</b>		著者名	関裕二／著			
出版社	PHP研究所	ISBN	978-4-569-76392-7	本体価格	¥660	発売	2015/7/1
内容	初代天皇・神武が九州からヤマト入りする神武東征。実はこの神話を裏付けるような遺跡がある。纏向遺跡だ。ここでは東海、吉備、出雲の土器が多数発見されており、神話通り三つの勢力が順番に纏向を治めたのではないかと、思われるのだ。天神・饒速日命とは何者で、なぜ義兄を殺してまで、神武に王権を禅譲したのか？ヤマト黎明期の謎に迫る！						

書名	<b>天皇はいつから天皇になったか？</b>		著者名	平林章仁／著			
出版社	祥伝社	ISBN	978-4-396-11423-7	本体価格	¥840	発売	2015/7/1
内容	古代天皇の本質に迫る 本書は、『古事記』『日本書紀』の記述・内容の差異などから、律令制以前の古代天皇の本質に迫るものである。古代天皇の名前はどのようにつけられ、何を意味するのか？『古事記』にのみ「日(ひ)の御子(みこ)」歌が載録(さいろく)されたのはなぜか？ 天皇家の太陽神信仰はどのようにして始まったのか？ 天皇はなぜ、なかなか仏教を受容できなかったのか？……それらを繙(ひもと)きながら、古代社会の実相と天皇の存在理由をあきらかにする。すべてを読み終えた時、古代天皇について、ひとつの「像(ぞう)」が結ばれるだろう。日本史最大の謎に迫る！						

書名	<b>卑弥呼 封印された女王の鏡</b>		著者名	関裕二／著			
出版社	ベストセラーズ	ISBN	978-4-584-39372-7	本体価格	¥667	発売	2015/7/1
内容	「邪馬台国論争」において封印された鏡。その鏡の名は、『金銀錯嵌珠龍文鉄鏡』。大分県日田市で出土し、重要文化財として東京国立博物館に保存もされている至宝“卑弥呼の鏡”はなぜ、黙殺され続けるのか？記紀をはじめ、考古学、伝承、地形、あらゆる視点を駆使し辿りついた、邪馬台国からヤマト建国の真実。古代史最大のミステリーが今明かされる。						

書名	<b>線で読み解く日本の名画</b>		著者名	安村敏信／著			
出版社	幻戯書房	ISBN	978-4-86488-074-9	本体価格	¥3,000	発売	2015/7/1
内容	モノをカタチづくる輪郭線と、画家たちはいかに格闘してきたのか？日本絵画の要諦は線にあり。奈良時代の墨絵から浮世絵、近代画まで、日本絵画の歴史一二〇〇年を新しい視点で読み返す美術案内。						

書名	<b>陰謀の日本史</b>			著者名	藤川桂介／著		
出版社	ロングセラーズ	ISBN	978-4-8454-0956-3	本体価格	¥900	発売	2015/7/1
内容	ベストセラー『宇宙皇子』の著者が描く闇のワンダーランド！多くの場合、歴史は影の闘争によって刻まれてきている。いつの間にか歴史の表舞台へ登場してきて活躍したり、想像以上の権力を掌握していたりするものがあるのも、陰の活動の結果であることが多い。本書は色仕掛け、トリック、罠、落とし穴、謀叛、粛清、殺戮、密教、陰陽道、呪術…歴史上のあの事件、聖徳太子や藤原氏、織田信長、坂本龍馬など人物のウラの顔を暴く。						

書名	<b>口訳万葉集／百人一首／新々百人一首</b>			著者名	折口信夫 小池昌代／訳 丸谷才一		
出版社	河出書房新社	ISBN	978-4-309-72872-8	本体価格	¥2,600	発売	2015/7/14
内容	小池昌代の訳詩と鑑賞で和歌の世界へと誘う新訳「百人一首」を中心に、「口訳万葉集」と「新々百人一首」を厳選し収録。						

書名	<b>ニッポンの産業遺産</b>			著者名	高橋昌嗣／写真		
出版社	エイ出版社	ISBN	978-4-7779-3687-8	本体価格	¥1,200	発売	2015/7/9
内容	日本の近代化、産業革命、高度成長期を支えたこれらの産業遺産を、高橋昌嗣氏による現在と当時の写真を織り交ぜながら、その歴史と存在意義を綴ります。						

書名	<b>日本史 古代～近世</b>			著者名	東京大学受験日本史研究会／監修 及川藍／シナリオ 鷲野鷹哉／マンガ		
出版社	学研教育出版	ISBN	978-4-05-304294-1	本体価格	¥1,100	発売	2015/7/1
内容	私大受験・センター試験にも完全対応した、マンガ参考書シリーズのパワーアップ版。流れがわかり、サクサク頭に入る！勉強のスタート期、ラストスパート期、いつでも読めて、あっという間に読み終わられる。本編は、古代～近世まで。別冊問題集つき。						